

令和3年第11回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和3年11月17日（水）
開 会 14時56分
閉 会 16時05分
場 所 横田庁舎 2階 第一会議室
出席委員 福田充雄教育委員 荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員
委員会事務局 永瀬教育魅力課長 吉川結婚子育て応援課長
岸本教育魅力課課長補佐 長谷川教育魅力課長補佐

教育長

（コロナ禍における学校行事等について）

（仁多地域統合小学校建設候補地への意向について）

- ・布勢小校区、高尾小校区から同意をいただけなかった。理由として布勢小校区は通学方法、特にバス通学の方法が分からないため、高尾小校区は三成小学校の代替校舎がはっきりしないため、ともに判断できないとのこと。絶対反対という校区はなかった。
- ・教育委員会としては同意しなかった2つの校区から話を聞いて今の路線で動きたいと話した。そこで議会から強い反対がある中で校区の同意を貰っても進めるのは難しいのではないかという提案があった。今後の対応案について本日説明をする。

参加者3名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 福田委員

報告第16号 小学校再編協議の状況について

※資料により説明

事務局

再編協議に係る状況、当初想定と現状、参考資料として5月の総合教育会議の際に配布した資料を配布している。町から提案していた現三有小学校敷地への統合小学校建設について10月25日付で仁多地域の該当校区の意向を出してもらった。そのうち2つの校区から同意がもらえなかった。また、同意した校区についても無条件での同意ではなく様々な要望付きの同意だった。それらを踏まえて10月26日に特別委員会の会長、副委員長、仁多・横田の座長など5名に報告をした。そこで様々な意見を貰った。

11月8日に町長、副町長、総務課長、企画財政課長、教育魅力課長、私で今後の再編統合の進め方について協議を行った。校區別協議会の中である程度同意が出ており、断固反対の校区が無い事を説明した。それに対して「教育委員会の意見も理解できるが、9月予算で様々な理由から予算組み替えの動議が出され、その際に10対2で予算組み替え動議が賛成された現状を踏まえると、校區別協議会以外の意向も踏まえた上で建設地を決めていくべきではないか」という意見が大半を占めた。教育委員会としては建設予定地を変更するつもりはないと意向を示している。話を前に進めるためには特別委員会から何かしらの意向を示してもらい協力してもらう必要があるため、これについては今後特別委員会に説明と依頼をしようと思っている。また、校舎が耐震化されていない布勢・三成について様々な意見が出ており、中には費用が掛かるので無駄ではないかという人もいる。町としては児童の安全確保のために布勢・三成両方の対応をしていきたいと議会・校區別協議会で説明をしていく。本日配布した当初想定と現状、5月の総合教育会議資料の2つは全議員に配布して今後の検討の資料として欲しいと思っている。

引き続き令和7年4月の統合に向けて各校区の意向のとりまとめを今年度末にお願いしている。並行して布勢・三成の代替校舎の話をしていくが、現状ではカルプラ駐車場に仮設校舎を建築する提案を進めることは難しい。

仁多地域については当初予定していた令和7年4月統合は難しく、最短で令和8年4月になると思っている。様々な思いがあるが、子供たちのために出来るだけ早く再編して欲しいというのが保護者の大半の意見だと認識している。そのため、出来るだけ早期の再編を目指す。三成小学校への前倒し再編を希望する場合は、以前代表者会議で提案した通り希望があれば対応していく。

12月に第4回校區別協議会代表者会を開催する予定にしている。仁多地域に対して具体的な案を示すことはできないが、学級規模の確保のために再編を提案している旨に基づいて再編の意向を取りまとめて欲しいとお願いをしたいと思っている。令和4年3月に予定している意向のとりまとめについては仁多地域、横田地域共にスケジュールの変更はない。仁多地域の統合小学校の建設場所は、特別委員会からの意向表明を受けてから決定まで最短で今年度末になると予想している。資料にはその場合のスケジュールを載せている。

仮の話だが、現三成小学校敷地に統合小学校の建設が決定した場合、三成小学校の仮設校舎は校庭以外の土地に建設すると予想している。また、現三成小学校敷地以外に統合小学校の建設が決定した場合、三成小学校は現在の場所に最低限の仮設校舎を建設して対応する予定にしている。布勢小学校の仮設校舎についてはどちらの場合でも対応は変わらない。

仮設校舎は建物が完成するまでの期間限定で特例的に認められるものなので建設のスケジュールが決まっていない場合、仮設校舎の建設は認められないと思われる。そのため統合小学校の建設地が決まらない場合、教育委員会としては児童の安全確保のために仮設校舎ではなく建築確認が取れる建物の建設を進めることになる想定している。その際に補助金等を利用してしまうとその要件として10年間は学校

校舎として使用しなければいけないため再編自体が見通せなくなってくる。できるだけそうならないように各方面にお願いをしたいと思っている。また、造成が必要な場所に統合小学校を建設することになれば造成期間も必要になってくるため令和8年の統合も難しいと思っている。

各校区からプール・体育館の新設等様々な要望を貰っている。それらの要望を現三成小学校敷地に統合小学校を建設する仮定で一緒に建設するとどのようなレイアウトになるかを示した資料を配布している。プールを敷地内に建設しない場合、1,000 m²程度の延べ床面積の体育館を作っても 6,000 m²程度の校庭は確保できると想定している。現在小学校の中で一番広い校庭が 6,500 m²程度であり、6,000 m²であれば十分な広さになると認識している。

代替校舎事業費については、教育委員会としては施工が早く安全確保が出来るユニット式の仮設校舎を代替校舎にする方針。9月予算では布勢小学校の代替校舎の費用として2億2,000万の債務負担を上げていたが、同じ規模で建築確認が出来る建物を建設しようとする1 m²あたり30万円程度の単価になると思われ、単純計算でも5億になる。三成小学校については、旧高田小学校に仮設を作る又は、統合小学校を現三成小学校敷地以外に建築することになった場合、普通教室部分だけ仮設校舎を作ることになる。これだと1億5,000万円程度になる。しかし、現三成小学校敷地に統合小学校と三成小学校の仮設校舎を建設することになれば現校舎を取り壊す関係で校舎が使えなくなり、現在の管理棟と普通教室棟に該当する広さ2,000 m²程度の面積が必要と見込まれ、仮設校舎でも3億円程度見込まれている。また、教育委員会は望んでいないが、統合小学校の建設が未定になった場合、建築確認が取れる教室棟を建築する必要があるため6億円程度を見込んでいる。この金額は統合再編の話が出る前、平成28年頃に中期財政計画で上がっていた数字とほぼ同じ金額。これらの資料は5月総合教育会議時検討資料と合わせて全議員に配布をし、特別委員会で何かしらの意見照明・提案をいただくための資料としてもらうつもりでいる。

11月22日に特別委員会に資料を提供して意見を取りまとめる予定にしていたが、議会事務局に確認したところ話の伝達が上手くできていなかったため、ひとまず委員長と副委員長に説明をする予定にしている。29日に全員協議会があると聞いているのでその際に委員長から全議員へ説明をすると思われる。

各校区別協議会から様々な要望を貰っている。11月24日に三成小の校区別協議会から説明をして欲しいと要望があったため代替校舎の現状を説明する予定にしている。事前に三成の協議会からも代替校舎について保護者の意見を踏まえた提案をさせて欲しいと連絡があったため何かしらの提案があると思われる。25日には布勢の協議会に対して代替校舎が遅れていることのお詫びと説明に行く。合わせて統合小学校の建設地について追加説明を町長と行う予定にしている。

本来ならば教育委員会定例会で話をした後議会で話をするべきだと思ったが、議長と副議長には先に資料を提示した上で特別委員会と協力しながら進めていきたいと説明している。議会全体の意向ではないと思うが、代替校舎に何億円もかける

	<p>のは抵抗があると受け取れる言葉が出てきた。また、名目統合をすればよいと提案があった。仁多地域の小学校を1つの小学校という事にして各小学校を〇〇校舎という形にすれば子供たちの移動に融通が利くのではないかという提案があった。それについて回答に足る資料がなかったため、その場で回答はできなかった。「教育委員会の考え方は理解できるが、議会としては50年100年の大きなスパンで町をどうしていくか考えた上で進めなければならない」という発言があったが、それが議会の総意なのかは分からない。その話を受けて副町長と話をしたが、町としては現在最善だと思われる現三成小学校敷地に統合小学校を建設する案を進めるため、各校から出た要望を踏まえてそれを改善して進めていく。また、児童の安全面についても代替校舎建築を理解してもらうため議会との話の準備をしている。</p> <p>議長・副議長の考えは、仮設校舎にお金をかけるのならば統合小学校にお金を使えばいいという考え。そのため各校区から将来的に統合をするという意向を貰い、名目統合をして亀嵩小学校に三成小学校の児童を、阿井小学校に布勢小学校の児童を通わせながら1,2年かけて統合小学校をどこに建設するか決める方法もあるのではないかと話があった。教員の配置、教員の確保が難しいと話をしたが、そこは町が独自に教員を探せばよいと発言があり、私達とは異なる認識を持っていると感じた。また、教育委員会として特別委員会に要望を出すのであれば、こちら（議会）の考えもそちら（教育委員会）へ伝えて欲しいとの要望があった。</p>
教育長	正直、行き詰まっている気はしている。意見、質問はあるか。
谷尻委員	金銭関係で止まっている気がしている。私たちは今の奥出雲町の子供の教育環境がこれからの奥出雲、日本、世界で生きる子供のための教育環境ではないため、それを解消するために早く統合して欲しいという思いで進めてきた。それがお金に絡められて薄らいでいるように感じる。かつて中学校統合が行われ、その時の生徒は現在60代になっていると思うが、その時と今は時代が違うと思う。教育内容やタブレットなど当時の子供の育ちあう力と今の子供の育ちあう力は全く違うと思っている。教育環境の差の解消のため早く統合して欲しいと思っているが、返って来る反応がそこに達しておらず悲しく思う。20年間何をしていたのだろうという思いがする。
福田委員	名目統合だが、それは難しい。〇〇校舎という扱いにしても教員の定数は当然あると想定され、また、教員があちらこちらの校舎に行くのでは話にならない。議長・副議長が名目統合を提案した理由は、中学校統合時に先に統合すると決めてその間に新校舎の建設の話を進めていたためだと思われる。議会の中でもそれぞれの議員の思いがあり、説得は難しいと思っている。私も議員と話をしてきたが、何人かは分かっているようで分かっていない人がいるように感じた。今は中学校統合の時代と教育内容、指導方法、教育環境も違っている。その時代に適合した学校を作らないと奥出雲町の子供は遅れる、損をするという思いがあるが、それを理解してもら

	<p>えない。それよりもお金、町づくりが先等様々な話が出てきているから議会がまとまらないと思っている。議長には早く結論を出して欲しいと要望しているが、議会が何か言うまで待つしかないと思っている。議長も統合は必要だと言っているが、議会の中では仁多横田地域の小中学校を1つにすればよいとの意見も出ている。議会は予算に責任を持たないといけない立場にあると思うが、責任の持ちようが議員によって違うので非常に難しい。</p>
荒金委員	<p>統合は子供たちの事と予算的な事を一緒に考えながら総合教育会議で方針として出した。非常に難しいと思うが、教育委員会はぶれる必要はないと思っている。また、この説明を続けていけば議会の意向もこのこと同じところに落ち着くのではないかという希望的観測をしている。子供たちのためにも早く特別委員会の意向を示して欲しい。</p>
教育長	<p>事務局としてはこの方針を守っていかなければいけない。議会もそれぞれの議員がそれぞれの思い、情報で動いている節があるので保護者はこのような思いを持っていると示す必要がある。教育委員会には直接来ないが、町長のところへ様々な人が意見を持っている。それぞれの代表の方と町長が話しあって町としての思いを伝える機会を作る。</p> <p>議会に再編がお金だけの問題ではないことをある程度理解してもらうには、オープンな場所での議論も必要だと思っている。仁多・横田地域に分けてそこで保護者の早く統合して欲しいという思いを伝えていく必要があると思う。また、事務局からの情報発信も不十分だった点もあると思っている。今後は、これからの町を考えていくにはまず教育を考える必要がある点、そのためには子供たちが切磋琢磨して育っていく環境、必要な教育環境の整備のために早期の統合を目指していきたいと積極的にアナウンスしていく必要があると教育委員会の中で話している。教育委員の皆様にも機会がある毎に話をしてもらいたい。今後、議会の考えを出来るだけこちらの考えに近づけていく努力をしていきたいと思う。</p>
福田委員	<p>タウンミーティングのような様々な人に集まってもらって意見を言い合う機会が必要ではないか。そのような機会を作りながら議会を説得することを考えなければいけないのではないか。</p>
教育長	<p>地域住民からは学校の再編統合は現三成小学校敷地でやむなしとの考えを貫っている。これも1つの地域住民の考え方。立場上、議会は地域住民の代表をしているのでそのような考えがあるとすり合わせるために公開の場で協議をする。12月は無理なので年明けの出来るだけ早い時期に開催できるようにと考えている。そこでは仁多地域からは場所の問題、学校の在り方の問題、横田地域からは学校の在り方の問題、通学方法が議題に上がると思っている。今後は具体的なビジョンが描けたら案内する。</p>

事務局	<p>報告第 17 号 教職員の服務指導について</p> <p>※資料により説明</p> <p>* 質疑非公開</p>
事務局	<p>その他連絡事項</p> <p>(令和 3 年度末人事異動について)</p> <p>(後期学校訪問について)</p> <p>委員の同意がもらえれば糸原指導主事に取りまとめて予定を組む。それでいいか。</p> <p>また、情報交換会については密を避けるために 1 名程度の参加にして欲しい。</p>
福田委員	<p>任せる。</p>
事務局	<p>(三沢幼稚園統合の経過について)</p> <p>三沢地区より三沢幼稚園を休園し、令和 4 年 4 月 1 日から三成幼稚園での合同保育を要望する要望書の提出があった。これについて 12 月 2 日回答書を予定している。議会へは 11 月 29 日の臨時議会で報告をする。</p> <p>(教育委員会職員の休職について)</p> <p>< 次回定例会は 12 月 17 日 (水) 午後 3 時より (予定) ></p>
署名委員	<p>会 議 録 署 名</p> <p>福田 充 雄</p>
教育長	<p>松 田 武 彦</p>